

戦後 北谷のあゆみ



新庁舎(桑江226番地)は基地返還を見込んだ上で、キャンプレスター基地の中心部に敷地及びアクセス道を米軍と共同使用する形で建設されました。



ハンピー地区は、土地区画整理事業の完了した1991年頃から、大規模小売店舗(ハンピータウン)や各種専門店が集積する商業地域として発展しました。1994年に安良波公園が、2001年にアラハビーチが完成しました。



北前から美浜までの海浜部は1987年コースタル・コミュニティ・ゾーン(CCZ)の認定をうけ、整備がおこなわれました。北谷公園にはサンセットビーチや海邦国体(1987年)の会場となったソフトボール場を始め、陸上競技場や屋内運動場が次々と完成しました。



建設中の国体道路



北谷村初の公営住宅

2014年

1998年

1997年

1987年

1980年

1974年

『北谷村振興計画書』
発行

5月
本土復帰

1972年

復帰記念事業として1973年の若狭国体開催時に国道58号とコザ市(現沖縄市)を結ぶ県道24号(国体道路)が開通しました。これに伴い、上勢頭地区と桑江地域の宅地開発が本格化しました。



北谷フィッシャリーナ



桑江・伊平の区画整理

美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ



産業振興や雇用の場の確保と地域活性化を目的とした美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ開発が行われ、映画館の開業を皮切りに賑わいのあるまちが形成されました。



4月町制施行

北谷町制が施行された日に、当時の島袋雅夫町長(左)と花城可金議長(右)が役場の看板を付け替えました。

現在の北玉児童館の位置に建設されていた北谷村役所*



4月 役所庁舎新築



新庁舎(桑江226番地)は基地返還を見込んだ上で、キャンプレスター基地の中心部に敷地及びアクセス道を米軍と共同使用する形で建設されました。



ハンピー地区は、土地区画整理事業の完了した1991年頃から、大規模小売店舗(ハンピータウン)や各種専門店が集積する商業地域として発展しました。1994年に安良波公園が、2001年にアラハビーチが完成しました。



CCZ 認定

北前から美浜までの海浜部は1987年コースタル・コミュニティ・ゾーン(CCZ)の認定をうけ、整備がおこなわれました。北谷公園にはサンセットビーチや海邦国体(1987年)の会場となったソフトボール場を始め、陸上競技場や屋内運動場が次々と完成しました。



建設中の国体道路



北谷村初の公営住宅

2014年

1998年

1997年

1987年

1980年

1974年

『北谷村振興計画書』
発行

5月
本土復帰

1972年

復帰記念事業として1973年の若狭国体開催時に国道58号とコザ市(現沖縄市)を結ぶ県道24号(国体道路)が開通しました。これに伴い、上勢頭地区と桑江地域の宅地開発が本格化しました。



北谷フィッシャリーナ



桑江・伊平の区画整理

戦後 北谷のあゆみ

戦前の北谷は現在の北谷町から嘉手納町まで広がる行政区画で、主に農業を生業していました。沖縄戦が終結すると他市町村の人々は収容所から元の居住地へ帰っていましたが、村域のほとんどを米軍に使用されていた北谷村民は1946年10月まで帰村が許されませんでした。この展示は、戦後の収容所生活から帰村、そして復興と発展といった現在までの変化を公文書や写真で紹介する展示となっています。



米軍は北谷・読谷一帯から上陸作戦を開始し、南北へ進撃し住民を収容所に保護していました。そのため、沖縄の人々は各地の収容所で戦後生活をスタートすることになりました。



6月
沖縄戦終結

1945年



10月
帰村

1946年

(歴史公文書) 人口移動二閏スル件

1945年10月に収容所からの移動が許可され、人々は元の居住地に帰っていましたが、基地建設が進んでいた北谷村に帰村の許可は下りませんでした。そこで北谷村は現在の沖縄市嘉間良に仮役所を設置し帰還要請を重ね、他の市町村に遅れること1年後によくやく北谷村域の一部へ移動が許可されました。

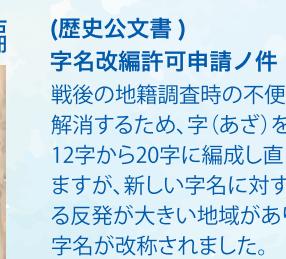


1951年



4月
字名改編

1948年

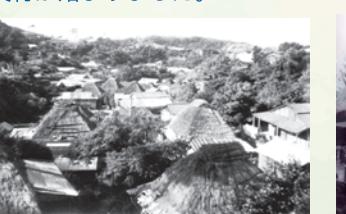


(歴史公文書)
字名改編許可申請ノ件
戦後の地籍調査時の不便を解消するため、字(あざ)を12字から20字に編成し直しますが、新しい字名に対する反発が大きい地域があり、字名が改称されました。



土地所有権証明書交付

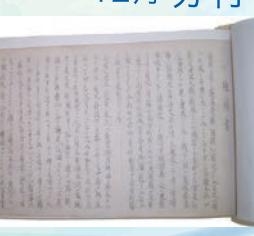
沖縄戦で土地登記簿や土地台帳のほとんどが焼失したため、戦後は土地に関する権利関係や現状を把握するのが難しい状況にありました。これを明確にするために、「土地所有権証明書」の交付が始まりました。



戦後初期の謝効

標準住宅

帰村後も戦前に住んでいた地勢の良い平坦地は軍用地に使用されたため、人々は起伏のある傾斜地への居住を余儀なくされました。



(歴史公文書)
分村の陳情書
嘉手納基地が全面立入禁止となり、村役所への交通の不便を強いられた嘉手納地区の住民から分村の世論が高まりました。